

# 編集後記

昨年12月19日に千葉県地方自治研究センターが一般社団法人として発足し、その情報誌「自治研ちば」の発刊にこぎつけることができました。執筆していただいた、研究者、関係者に感謝します。

千葉県地方自治研究センターはこれまで、自治労千葉県本部内の任意団体として活動してまいりましたが、このほど市民に開かれた、県内の地方自治研究の拠点として装いも新たに再出発したものです。

政権交代により日本の政治は大きく変わるものと期待していました。しかし、新聞、テレビで報道されるニュースは我々の期待とかけ離れたものが大半です。とくに、地方自治体を取り巻く状況はますます厳しさを増しており、いまだ明るい展望を持つことができません。

結成総会での、大森先生の記念講演は、久々に溜飲をさげる内容でした。マスコミが道州制の推進などタレント知事の主張などを大きく取り上げる中、住民にもっとも近い基礎自治体の重要性をお話いただき、わが意を得たりの心境でした。ここでは、講演の全文を掲載させていただきました。そのほか、松戸消防のパワハラ事件、野田の公契約条例など自治体に関係する県内でのホットな情報を投稿していただきました。今後も県内の地域情報を取り上げる予定です。また、井下田理事長、宮崎副理事長の連載も予定しています。

この情報誌、年に3回の予定で発刊いたします。当自治研究センターに協力いただいている研究者を中心に投稿していただく予定ですが、地域で活動している方々の広場的な役割を果たしていくのがこの冊子の目標ですので、地域住民の団体、個人の投稿を歓迎します。講演会のテーマについての要望についても歓迎します。ご連絡をいただければ幸いです。

事務局長 高橋 秀雄